

第7回 全日本中学女子軟式野球大会 出場

「努力はしてきたので、気持ちで負けないように強気で挑めば結果は変わっていたかもしれない」と松崎さんは悔しさをにじませながら試合を振り返ります。

石下西中野球部に所属しながら、茨城アストロプラネッツ中学女子に所属している松崎さんと本諏訪さんは、京都府で開催された全日本中学女子軟式野球大会に茨城県代表として出場しました。

沖縄ガールズ（沖縄県代表）との1回戦は、2回の表に3点を先制し、6回表には松崎さんのヒットで1

点を追加してリードをする展開ながら、6回の裏にサインミスなどから4点を取られたことで同点に追い付かれ、そのまま延長タイブレークを迎えました。

2時間を超える激戦は、8回裏2アウト2、3塁から沖縄ガールズにライト前ヒットを打たれ、サヨナラ負けの悔しい結果となりましたが「来年は全国大会での経験を活かして、ピッチャーとして、みんなを引っ張っていったらいいと思う」と本諏訪さんが意気込みを語ってくれました。

本
諏
訪

Sona Motosuwa

石下西中学校2年

颯
南

松
崎

Yui Matsuzaki

石下西中学校3年

唯
心

全国大会試合結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
茨城アストロプラネッツ中学女子	0	3	2	0	0	1	0	0	6
沖縄ガールズ（沖縄県）	0	1	1	0	0	4	0	1X	7

第 39 回 全日本少年軟式野球大会 ベスト 8

「1つの目標だった県西選抜に選ばれたと知った時は、嬉しい反面、絶対にレギュラーを勝ち取るという強い気持ちを持った」と草間さんは振り返ります。関東地区予選の代表決定戦ではサヨナラヒットを打ち、自らのバッティングでチームを全国大会へ導きました。

2人は石下中学校野球部での活躍が認められたため、茨城県西選抜に選ばれ、走塁と小技を絡めた「つなぐ」野球で全国までの激戦を勝ち抜き、8月に横浜スタジアムで開催された全国大会へ出場を果たしました。

「守備ではエラーをしないように、バッティングでは初球から積極的に振っていき、出塁することを意識して全国大会優勝を目標にして挑んだ」と國府田さんは話します。

全国大会では惜しくも準々決勝で星陵中学校（石川県）に負けてしまいましたが、「全国レベルの野球に触れたことで、今まで以上に野球が好きになった。高校でも全国の舞台を目指したい」と、2人は笑顔で話してくれました。

草間

Daito Kusama

石下中学校 3年

大斗

國府田

Renon Kokufuda

石下中学校 3年

蓮暖

県予選会試合結果

試合	対戦相手	結果
代表決定戦	中央選抜	2 - 0
1 回 戦	県南選抜	5 - 2

全国大会試合結果

試合	対戦相手	結果
準々決勝	星陵中学校（石川県）	2 - 5
1 回 戦	遠軽南・丸瀬布中学校（北海道）	5 - 0

関東予選会試合結果

試合	対戦相手	結果
代表決定戦	前橋 South Stars（群馬県）	6 X - 5
1 回 戦	作新学院中学校（栃木県）	5 - 3

「全国大会に行けなかった悔しさをぶつけた」と笑顔で上野さんは話してくれました。

1歳から水泳を始めて着実に実力をつけていき、今年は県大会で100m平泳ぎと200m平泳ぎの2種目で、共に2位という結果になりましたが、標準記録を突破できなかったため、全国大会への出場は叶いませんでした。

その悔しさを胸に8月に笠松運動公園で開催された関東大会に挑み、後半からペースを上げるのが持ち味

という言葉どおり、200m平泳ぎ決勝では100mを4位で折り返すと、そこから3人を抜き去る猛追を見せ、自己ベストを1秒以上上回る好タイムで、優勝に輝きました。「練習ではキックが弱いと言われるので、意識をして試合に挑んだ」と試合を振り返ります。

来年の目標は「全国大会出場だけで満足することなく、100m平泳ぎと200m平泳ぎの2種目で上位入賞できるように頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。

上野

Keisuke Ueno

石下中学校2年

啓祐



第46回関東中学校水泳競技大会
200m平泳ぎ
優勝

歓喜の 関東大会優勝

関東大会試合結果

種目	タイム	結果
200m 平泳ぎ	2:24.58	第1位
100m 平泳ぎ	1:07.70	第5位

「小学生では成し遂げることができなかった「全国大会優勝」が達成できて、心の底から嬉しいです。今まで応援やサポートをしてくれた両親・先生方・仲間達に恩返しができました」と柔道で全国制覇を成し遂げた秋田さんが笑顔で報告をしてくれました。

3歳から柔道を始め、豊田小学校在校時には県内で向かう所敵無しでしたが、6年生の時に出場した全国大会で負けた経験が、日本一を目指すきっかけとなり、名門の東海大学付属相模高等学校・中部部への進学を

決意しました。1年目は新型コロナのため大会が中止、2年目は県大会決勝で同じ中学の先輩に負けたことで、全国への出場の機会を惜しくも逃し、中学最後の年に全国大会出場を果たして、念願の日本一に輝きました。

「やっと日本一になれてスタートラインに立つことができました。これを自信にして、鈴木桂治先生・小野卓志先生に続く常総市出身3人目の柔道オリンピック選手になって金メダルを取りたいです」と今後の抱負を語ってくれました。

秋田

Kuranosuke Akita
東海大学付属相模高等学校・中部部3年

蔵之介



第53回全国中学校柔道大会
81kg級優勝
念願の全国制覇

全国大会試合結果

試合	対戦相手	結果
決勝	吉田 征矢（愛知県）	反則勝ち
準決勝	坪井 馨（福岡県）	優勢勝ち
第4回戦	高倉 朋大（兵庫県）	大外刈
第3回戦	波多野優平（青森県）	反則勝ち
第2回戦	森本 拳成（徳島県）	一本背負投
第1回戦	和田 英大（島根県）	袖釣込腰